消　防　年　報

令和５年版

永平寺町消防本部

令和５年度 消防本部マネジメント方針

【基本方針】

町民一人ひとりが、「安心」と「安全」を実感しながら生活できるよう、消防団や自主防災組織、町民と協働しながら「災害に強い、安全、安心なまちづくり」を進めます。

【重点施策】

Ⅰ　人材育成の強化

Ⅱ　住宅火災防止の徹底

Ⅲ　防火対象物の消防法令違反の徹底

Ⅳ　高機能消防指令台および消防車両等の維持管理について

Ⅴ　地域防災力向上の取り組み

ま　え　が　き

この年報は、永平寺町消防本部における令和５年４月１日現在の消防現勢及び消防業務全般を収録したものであり、将来の消防施策の参考に資するとともに広く一般に紹介し、消防に対する理解を深めていただくものです。

なお、この年報の統計は暦年をもって作成してありますが、予算関係については会計年度で表し、これらによらないものについては当該表に調査年月日を記載してあります。

今後とも、尚一層のご指導ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

令和５年７月

永平寺町消防本部

消　防　年　報

（令和５年版）

◆　**あらまし**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１ ～ １１

◆　**総 務 編**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２ ～ １９

◆　**予 防 編**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２０ ～ ２６

◆　**警 防 編**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２７ ～ ３２

◆　**関係団体**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３３ ～ ３９

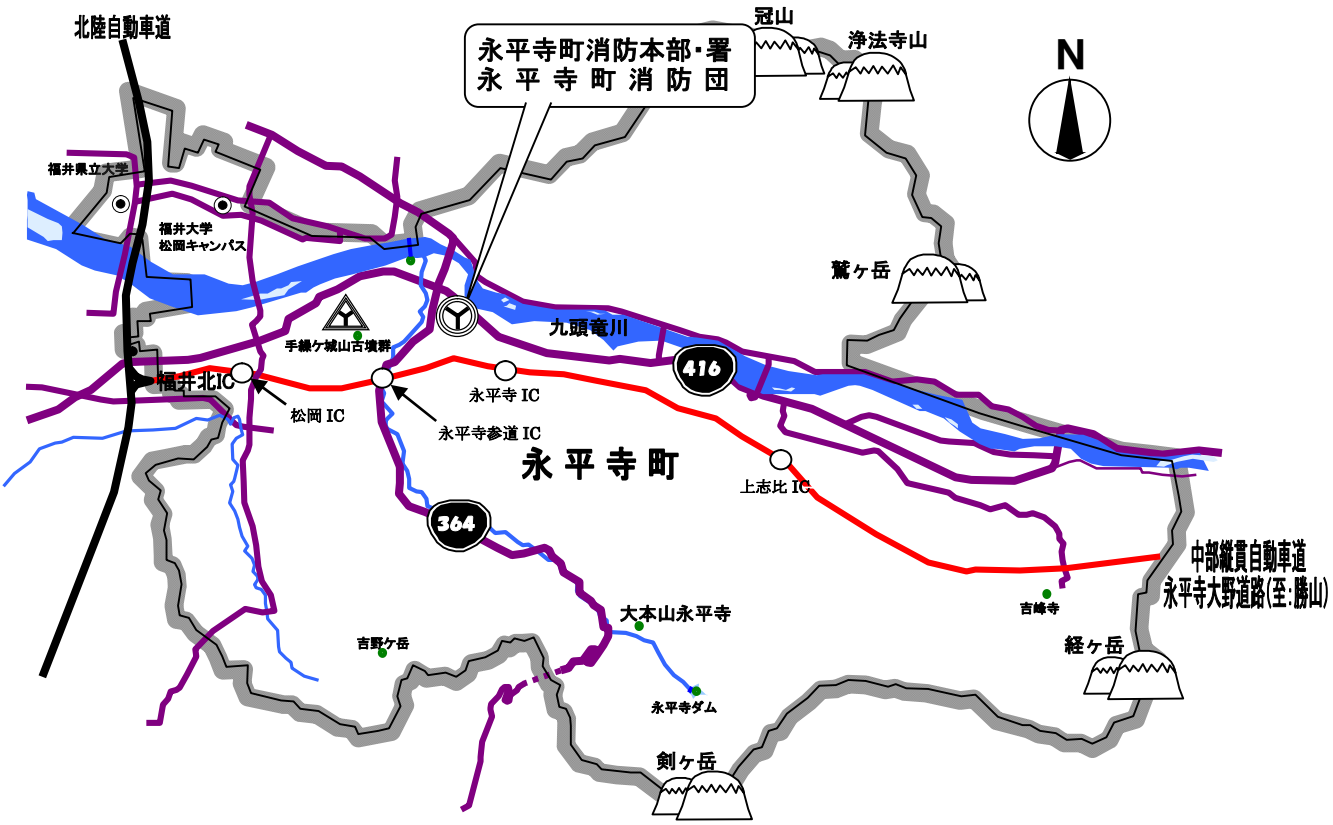
◆　あ　ら　ま　し

永平寺町消防本部管内図・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１

位置地勢沿革等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２

消防のあゆみ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３～１１

永 平 寺 町 消 防 本 部 管 内 図



消防庁舎の概要

署　々　別	所　　在　　地	構　　造	面　積
消防本部・署	福井県吉田郡 永平寺町東古市１０－５	ＲＣ造　地上６階 （３～６階　訓練塔）	1,998.33 ㎡

永平寺町（令和５年４月１日現在）

人　　口	世　帯　数	面　　積
１７，９６２人	６，５７５世帯	９４．４３ｋ㎡

位置地勢沿革等

永平寺町消防本部が位置する永平寺町は、東経１３６度１８分、北緯３６度５分と福井県嶺北地方のほぼ中央にあり、東西約１５．５ｋｍ、南北約１０．５ｋｍ、総面積９４．４３ｋ㎡の、福井平野を流れる県下最大の河川、九頭竜川の中流域の流れに沿って開けた町で、南と西は県都福井市に、東は白山連峰を配した勝山市に、北は坂井市に接した、清流を挟み南北を山々に囲まれた水と緑の豊かな所です。

町内を、九頭竜川に平行して東西に国道４１６号線とえちぜん鉄道が、南北には大本山永平寺に至る国道３６４号線が走り、西部を南北に走る北陸自動車道の福井北インターに近く、また、同インターから長野県松本市に至る中部縦貫自動車道は、平成２９年７月に永平寺大野道路２６．４ｋｍが開通し、交通の要衝となっています。

九頭竜川が形成した扇状地では、恵まれた自然環境の中、古くから人類が生活していたことがうかがえる石器や住居跡が発掘されています。古墳時代には、丘陵地を利用して多くの古墳が造られ、手繰ヶ城山古墳や二本松山古墳など北陸最大級の前方後円墳は、国指定の史跡となっています。

年間を通して全国から多くの観光客が訪れる古刹曹洞宗大本山永平寺は鎌倉時代道元禅師が、町内の吉峰寺に続いて開いた修行道場として、その伽藍を今に残しています。

徳川家康の曾孫、松平昌勝公が初代藩主となった松岡藩の天竜寺には、俳人松尾芭蕉が奥の細道の帰途に訪れ、そのときの句碑が芭蕉塚として残されています。変遷を経、近年では福井大学医学部附属病院や福井県立大学、県理美容専門学校等の教育施設が町西部に建設され、歴史と教育文化の香り高い町を形成しています。

平成１８年２月１３日、同じような歴史文化をもつ旧松岡町、旧永平寺町、旧上志比村の２町１村が合併、「新永平寺町」として生まれ変わりました。消防も新町の下、組織そのものは旧吉田地区消防組合消防本部と変わりませんが、名称を「永平寺町消防本部」として再出発、現在に至っています。

平成２８年４月１日からは、拠点を管内中心部の東古市に置き、高機能消防指令センターと消防救急デジタル無線システムを整備した新消防庁舎で、組織を１本部・１署の一極集中体制を図っております。

永平寺町消防本部のあゆみ

松　岡　町	昭和２６年４月１日職員３名にて団機関常備部設立 昭和４４年４月１日職員６名にて消防署設立
永平寺町	非 常 備 体 制
上志比村	非 常 備 体 制
昭和 45 年	１０月、松岡町、永平寺町、上志比村の２町１村による消防一部事務組合・吉田地区消防組合を設立（政令指定昭和４５年４月） 総員９名（定数３３名）、団員２２１名（定数２４０名）
昭和 46 年	職員１名退職、職員１７名採用　総員２５名 救急業務開始（２Ｂ型救急車２台 整備） 本部庁舎増築、**永平寺分遣所開設**、上志比分遣所庁舎新築 消防ポンプ車１台（永平寺消防団 第１分団） 小型ポンプ５台 （松岡消防団 第４分団:上合月/領家/渡新田/下合月/兼定島） 吉田地区危険物安全協会設立 ○松岡芝原地区火災（５月、死者１名） ○松岡志比堺地区火災（６月、死者１名）
昭和 47 年	職員６名採用　総員３１名 団員定数条例改正　２４５名 **上志比分遣所開設**、永平寺分遣所庁舎新築 化学車１台、消防ポンプ車１台（吉田４号車） 積載車２台（松岡消防団 第１分団/第２分団）、小型ポンプ自動車１台 広報指揮車１台、査察車１台 寄贈：福井・吉田ライオンズクラブ 消防無線陸上移動局４基 整備
昭和 48 年	職員１名退職、職員２名採用　総員３２名 消防ポンプ車１台、小型ポンプ１台（永平寺消防団 第３分団）
昭和 49 年	職員１名採用　総員３３名 小型ポンプ３台（永平寺消防団 第４分団）
昭和 50 年	職員２名退職、職員２名採用　総員３３名　職員定数条例改正　３４名 消防ポンプ車１台（吉田３号車）、消防無線基地局１基 整備 **北陸高速自動車国道消防相互応援協定締結** ○轟地区火災（７月、織布工場・住宅）
昭和 51 年	消防ポンプ車２台（松岡消防団 第３分団）、 小型ポンプ２台（永平寺消防団 第２分団/第４分団） 積載車２台（上志比消防団 第３分団・松岡消防団 第３分団） 救急車３Ｂ型１台 寄贈：日本損害保険協会 ○松岡志比堺地区火災（２月、織布工場） ○花谷地区火災（５月、死者１名）

昭和 52 年	職員１名採用　総員３４名 消防ポンプ車１台（吉田１号車）、小型ポンプ１台（松岡消防団 第４分団） 積載車１台（松岡消防団 第５分団） 永平寺婦人消防隊結成
昭和 53 年	消防ポンプ車１台（上志比消防団 第１分団） 小型ポンプ２台（永平寺消防団 第３分団・松岡消防団 第１分団） 積載車１台（永平寺消防団 第２分団） 消防無線陸上移動局２基、 〇松岡志比堺地区火災（１１月、死者１名）
昭和 54 年	職員１名退職、職員３名採用　総員３６名　職員定数条例改正 ３６名 消防無線陸上移動局２基 整備
昭和 55 年	消防組合創立 10 周年記念式典 永平寺本山二祖国師 700 回大遠忌（４月～９月門前出張所開設） 救急車２Ｂ型１台 寄贈：日本損害保険協会 小型ポンプ２台（永平寺消防団 第３分団・松岡消防団 第５分団） 積載車１台（永平寺消防団 第３分団） 〇松岡春日地区火災（１２月、死者１名）
昭和 56 年	職員１名退職、職員２名採用　総員３７名　職員定数条例改正 ３７名 消防ポンプ車１台、消防無線陸上移動局１基 〇谷口地区火災（１月、織物工場・住宅） 〇浅見地区火災（１月、死者３名） 〇松岡志比堺地区火災（１２月、死者３名）
昭和 57 年	救急車２Ｂ型１台 寄贈：日本損害保険協会 消防無線陸上移動局３基 吉田地区連合少年消防クラブ･吉田地区連合幼年消防クラブ･松岡地区婦人防火クラブ結成
昭和 58 年	消防ポンプ車１台（松岡消防団 第４分団） 指令車１台 寄贈：日本消防協会 小型ポンプ１台（松岡消防団 第３分団） 消防無線陸上移動局４基
昭和 59 年	職員１名退職、職員２名採用　総員３８名　職員定数条例改正 ３８名 **消防本部庁舎新築工事落成**鉄筋コンクート３階建(延べ面積 1,237.68m2) 消防用通信指令装置コンソールデスク型一式 整備 消防無線基地局１基 更新(永平寺分遣所) 永平寺町婦人防火クラブ結成
昭和 60 年	職員１名退職、職員１名採用　総員３８名 救急車２Ｂ型１台 寄贈：日本自動車工業会 上志比村婦人防火クラブ結成

昭和 61 年	職員１名退職　総員３７名 吉野地区婦人防火クラブ、御陵地区婦人防火クラブ結成 〇松岡室地区火災（８月、サイジング工場）
昭和 62 年	消防ポンプ車１台、積載車１台 更新（永平寺消防団 第３分団） 消防ポンプ車１台 寄贈（吉田４号車）：日本損害保協会 防火広報車１台 寄贈：日本防火協会 県防災行政無線 整備 全国婦人消防操法大会 永平寺婦人消防隊 出場:神奈川県
昭和 63 年	小型ポンプ３台 更新 （永平寺消防団 第３分団 ２台・永平寺消防団 第４分団 １台） 積載車１台 寄贈（永平寺消防団 第２分団）：日本消防協会 消防無線陸上移動局１基 整備 吉田地区連合婦人防火クラブ優良表彰（日本防火協会） 永平寺婦人消防隊 第２分隊結成 福井県市町村消防相互応援協定締結（平成８年６月廃止） 〇松岡志比堺地区火災（５月、住宅）
平成元年	職員２名退職、職員２名採用　総員３７名　職員定数条例改正 ３９名 積載車１台 整備（上志比消防団 第１分団） 積載車１台 寄贈（上志比消防団 第３分団）：日本消防協会 消防無線陸上移動局１基 整備 永平寺町婦人防火クラブ優良表彰（日本防火協会）
平成 2 年	職員１名退職、職員１名採用　総員３７名 消防ポンプ車２台 更新（吉田３号車・永平寺消防団 第２分団） 救急車２Ｂ型１台 更新（寄贈）：安田生命保険相互会社 消防組合創立 20 周年記念式典
平成 3 年	職員３名退職、職員１名採用 職員１名派遣（福井県消防学校教官 ６ヶ月間）　総員３４名 消防本部・署課制実施 消防ポンプ車２台 更新（永平寺消防団 第１分団） 積載車４台 更新 （永平寺消防団 第３分団/第４分団・松岡消防団第１分団/第２分団） 小型ポンプ３台 更新 （永平寺消防団 第３分団・松岡消防団 第１分団/第２分団） 指令車１台 更新、連絡車２台 更新（上志比分署・永平寺分署）
平成 4 年	職員２名退職、職員４名採用　総員３７名 水槽付ポンプ車１台 更新（吉田２号車） ポンプ車２台 更新（上志比消防団 第２分団・松岡消防団 特設分団）
平成 5 年	職員１名退職、職員２名採用　総員３８名　職員定数条例改正 ４１名 分遣所を分署に昇格

	救助工作車１台 整備 消防ポンプ車１台（永平寺消防団 第４分団） 積載車１台（松岡消防団 第５分団） 小型ポンプ１台（永平寺消防団 第２分団）
平成 6 年	職員３名採用　総員４１名　職員定数条例改正 ４３名 **女性消防団員登用**　団員定数条例改正 ２７８名 消防ポンプ車１台 更新（松岡消防団 第３分団） 積載車１台 更新（永平寺消防団 第３分団/第４分団） ○松岡葵地区火災（５月、住宅）
平成 7 年	消防署救助隊発足 救急車１台 寄贈：財団法人福井県農協共済福祉事業団 積載車１台 更新（永平寺消防団 第３分団） 小型ポンプ２台 更新（永平寺消防団 第３分団） 消防無線陸上移動局１基 整備 阪神淡路大震災救助隊応援出場
平成 8 年	職員２名退職、職員３名採用　総員４２名 指揮車１台 整備、査察広報車１台 寄贈：福井･吉田ライオンズクラブ 消防無線陸上移動局２基 整備 吉田地区防火協会設立 **福井県市町村消防相互応援協定締結**
平成 9 年	職員２名退職　総員４０名 軽積載車１台 寄贈（上志比女性消防団）：日本消防協会 高規格救急車１台 整備 県防災行政無線 更新、消防無線基地局･陸上移動局１基 整備 **福井県防災ヘリコプター応援協定締結** ○藤巻地区火災（９月、死者１名）
平成 10 年	消防ポンプ車２台 更新（上志比消防団 第１分団/第２分団） 広報車１台 寄贈：日本消防協会 御陵地区コミュニティ消防センター新築落成 **集団災害救急救助事故応援協定締結** 嶺北ブロック携帯電話等からの１１９番通報転送等に関する協定締結
平成 11 年	職員１名退職、職員４名採用　総員４３名 吉野地区コミュニティ消防センター新築落成 消防ポンプ車１台 寄贈（吉田１号車）：日本損害保険協会 松岡消防団 特設分団 福井県消防操法大会（ポンプ車の部）優勝 ○松岡志比堺地区火災（５月、死者１名） ○松岡志比堺地区火災（１２月、死者１名）

平成 12 年	職員１名派遣（福井県消防学校教育職員　１年間）総員４２名 救急資機材（患者監視装置）整備 消防組合創立 30 周年記念式典･３町村合同総合防災訓練
平成 13 年	職員１名退職、職員３名採用 職員１名派遣（福井県防災航空隊　３年間）　総員４４名 職員定数条例改正４４名（消防吏員４３名･吏員以外の職員１名） 災害救援車 整備、小型ポンプ１台 更新（上志比消防団 第２分団）
平成 14 年	職員１名退職　総員４３名 職員定数条例改正４５名（消防吏員４４名・吏員以外の職員１名） 大本山永平寺開祖道元禅師 750 回大遠忌警備（３月～１０月）
平成 15 年	職員２名退職、職員２名採用　総員４３名 **松岡消防団（財）日本消防協会特別表彰「まとい」受賞** 上志比消防団 第３分団 福井県消防操法大会（ポンプ車の部）優勝 第 32 回 全国消防救助技術大会出場（ロープ応用登はんの部）：宮城県 情報通信ネットワーク 整備
平成 16 年	３部制施行 防災広報車１台 寄贈：日本消防協会 福井豪雨応援出場
平成 17 年	職員１名退職　総員４３名 高規格救急車１台 整備 松岡消防団 第４分団 福井県消防操法大会（ポンプ車の部）優勝 携帯電話１１９直接受信システム 整備
平成 18 年	吉田地区消防組合解散式

平成 18 年	職員１名退職　総員４２名 **２月１３日、永平寺町消防本部・消防団開設式** 松岡町､永平寺町､上志比村の２町１村の合併により、永平寺町消防本部を設立、永平寺町消防団を結団（定数２７８名） 永平寺町消防団 第１分団 福井県消防操法大会（ポンプ車の部）優勝 第２０回 全国消防操法大会出場（ポンプ車の部）:兵庫県 エアーテント１基 整備 永平寺町防火協会 設立 〇志比地区火災（死者１名）
平成 19 年	職員２名退職、事務職員１名配属　総員４１名 消防署水難救助隊発足 能登半島地震　緊急消防援助隊（救急隊派遣） 永平寺町消防団　消防庁長官表彰消防団地域活動表彰受賞 住宅用火災警報器補助事業開始 学校等２０施設にＡＥＤを配備 **福井大学と集団災害救急救助事故応援協定を締結** 資材運搬車 整備（永平寺３号車)、フロアマット 整備
平成 20 年	職員３名退職、職員２名採用　総員４０名 消防団組織改正１０分団　団員定数条例改正 ２６０名 **消防団協力事業所に３事業所認定** 福祉施設等５施設にＡＥＤ配備 **住宅用火災警報器の設置義務化** 火災現場用資機材 更新（防火衣４０着） 消防団松岡西部消防施設新築（第８分団） 非常備消防ポンプ車 更新（第９分団） 消防団分団旗 整備
平成 21 年	職員２名退職　総員３７名 **機能別団員(大学生防災サポーター)任用** 福祉施設等１２施設にＡＥＤ配備 **町内全地区に自主防災組織が設置完了** **消防団協力事業所に２事業所認定**
平成 22 年	職員１名退職、事務職員１名配属 職員１名派遣（福井県防災航空隊 ３年間）　総員３６名 団員定数条例改正 ３１５名 **機能別団員(重機オペレーター)任用** **住宅用火災警報器設置率９０％達成** **女性分団を新設** 東日本大震災　緊急消防援助隊（ポンプ隊派遣） （全国消防長会より表彰を受ける） 水槽付ポンプ車１台 更新（永平寺２号車） 高規格救急車１台 更新（救急３号車）

	多機能型消防自動車１台 寄贈（第９分団）：日本消防協会 船外機付ゴムボート１艇 整備
平成 23 年	総員３６名 指揮車１台 寄贈：日本消防協会 永平寺町消防団 第３分団 福井県消防操法大会（小型ポンプの部）優勝 消防団松岡東部消防施設新築（第６分団）
平成 24 年	職員２名採用　総員３８名 **永平寺分署廃止　統廃合　１本部・署、１分署体制となる。** 消防団協力事業所表示証が消防庁長官より交付（椛山建設株式会社） 永平寺町消防団 第７分団 福井県消防操法大会（ポンプ車の部）準優勝 第 41 回 全国消防救助技術大会出場（はしご登はんの部）：東京都 消防団永平寺北地区消防施設新築（第３分団） 非常備消防ポンプ車 更新（第３分団）
平成 25 年	職員４名退職、職員２名採用　総員３６名 永平寺町消防団 第１０分団 福井県消防操法大会(小型ポンプの部)優勝 消防団永平寺中地区消防施設新築（第４分団） 非常備消防ポンプ車 更新（第４分団） 新庁舎・指令センター・デジタル無線実施設計 町内全域８ブロックに、自主防災組織連絡協議会設立完了 永平寺町と福井大学の包括的連携協定に伴う 「地の拠点整備事業救急講習会」実施
平成 26 年	職員２名退職、職員３名採用　総員３７名 **新消防庁舎建設事業及び消防救急デジタル無線・高機能消防指令センター統合整備事業着工** 中部縦貫自動車道福井北 IC～松岡 IC 開通に伴う 総合応援協定防災訓練実施 **消防団協力事業所に１事業所認定** 機能別団員（火災対応）任用 分団名の改変

平成 27 年	職員３名退職、職員３名採用、職員１名出向（役場総務課） 職員１名派遣（福井県消防学校教育職員　３年間）　総員４０名 非常備救助資機材搭載積載車１台及び小型ポンプ１台 更新（上志比東分団） 非常備消防ポンプ車１台 無償貸付（松岡西分団）：総務省消防庁 **平成２８年３月７日庁舎移転仮運用** **平成２８年３月２６日庁舎落成式** **消防救急デジタル無線・高機能消防指令センター開設式**
平成 28 年	職員３名退職、職員２名採用、職員２名出向(役場総務課)　総員３８名 非常備消防ポンプ車１台 更新（吉野分団） 本部車両 資機材搬送車 整備
平成 29 年	職員３名退職、職員２名採用、職員１名出向(役場総務課)　総員３８名 非常備消防ポンプ車１台 更新（松岡中分団） 本部車両 水槽付消防ポンプ車１台 更新（永平寺１） 松岡中分団 旧消防ポンプ車(BD-1)をペルーへ寄贈
平成 30 年	職員１名採用（初の女性消防吏員採用） 職員１名出向（役場総務課）　総員３９名 永平寺町消防団志比中分団 福井県消防操法大会（ポンプ車の部）準優勝 非常備消防ポンプ車１台 更新（志比南分団） 緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練・福井県総合防災訓練 実施場所：サテライト会場（永平寺河川公園） 消防団防災学習・災害活動車両　１台 整備(交付)：公益財団法人日本消防協会 **消防団協力事業所に１事業所認定**
元号改正	平成３１年５月１日より元号を「平成」から「令和」へ改元

令和元年	職員１名死亡退職、職員１名出向（役場総務課） 職員１名派遣（福井県防災航空隊　３年間）　総員３８名 第 48 回 全国消防救助技術大会出場（はしご登はんの部）：岡山県 第 24 回 全国女性消防操法大会 永平寺町消防団女性分団出場：神奈川県 非常備消防ポンプ車１台 無償貸付（松岡東分団）：総務省消防庁 本部車両 救助工作車１台 更新（永平寺救助１） 〇松岡石舟地区火災（６月、工場、死者４名） **消防団協力事業所に１事業所認定**
令和２年	職員５名退職、職員３名採用 職員１名出向（役場総務課） 職員１名派遣（福井県防災航空隊　３年間）　総員３６名 新型コロナウイルス感染拡大対応 救急隊分散配置勤務実施 外国人等対応システム（多言語同時通訳）運用開始 ＮＥＴ１１９緊急通報システム運用開始 機能別団員（まちの減災ナース）任用
令和３年	職員３名採用 職員１名出向（役場防災安全課）　総員３９名 消防団上志比地区消防施設新築（上志比東・上志比西分団） 非常備消防ポンプ車１台 無償貸付（上志比西分団）：総務省消防庁 機能別団員（大規模災害時活動支援員）任用 団員定数条例改正　４１２名
令和４年	職員１名採用 職員１名出向（役場防災安全課）　総員４０名 高規格救急車　１台　更新（救急１） 非常備消防　無償貸付　軽デッキバン更新 消防団防災学習・災害活動車両　１台 寄贈　公益財団法人日本消防協会
令和５年	職員１名退職　職員１名採用 職員１名出向（役場防災安全課） 職員１名派遣（福井県防災安全部消防保安課）総員３９名

◆　総　　務　　編

消防機関の組織・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２

令和５年度消防費予算額の内訳・・・・・・・・・・・・・・・・・１２

消防費の町一般会計に占める割合・・・・・・・・・・・・・・・・１２

消防職員の定員と現員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３

消防職員の配置状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３

消防職員の年齢別構成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４

消防職員の勤続年数状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４

消防吏員の教育実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１５

消防吏員の各種資格取得状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６

消防団員報酬及び手当の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・１７

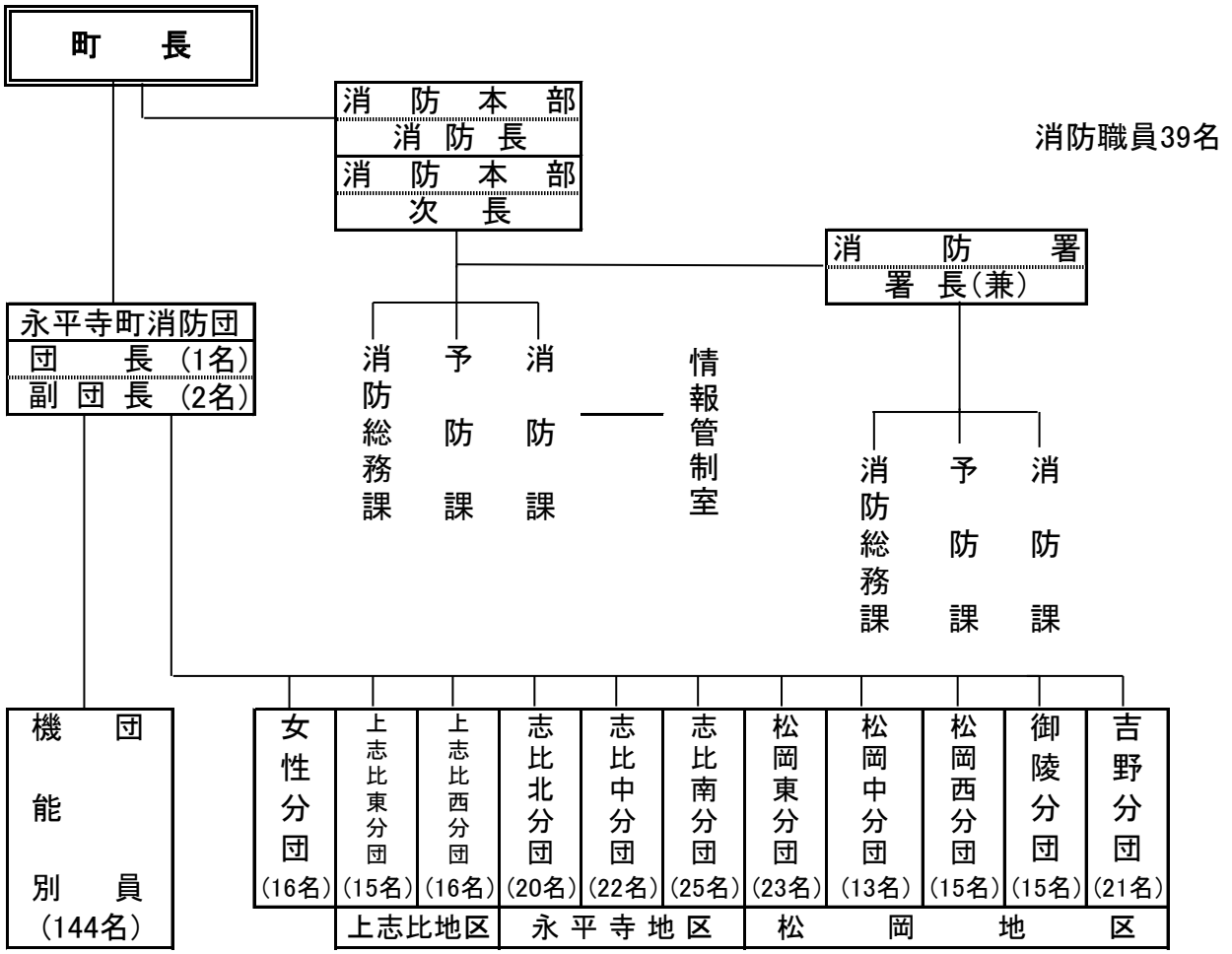
消防団員配置状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１７

消防団員年齢別・階級別構成・・・・・・・・・・・・・・・・・・１８

分団別消防団員勤続年数状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・１８

消防相互応援協定の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１９

消防機関の組織



令和5年度消防費予算の内訳（当初）

（単位：千円）

区　分	本年度予算額	本年度の財源内訳				
		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	その他	地方債	
消防費	425,986		1,000	725	79,600	344,661
常備消防費	285,962		1,000	713		284,239
非常備消防費	25,979					25,979
消防施設費	114,045			12	79,600	34,433

消防費の町一般会計に占める割合

（単位：円）

町一般会計予算額	消防費予算額	構成比	住民一人当たり	一世帯当たり
9,445,161,000	425,986,000	4.51%	19,188	52,420

消防職員の定員と現員

区分＼階級	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務（その他の職員）	計
定員	44						1	45
現員	1	5	13	5	6	9		39

職員の配置状況

区分	階級	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務（その他の職員）	計
消防本部・署	消防長	1							1
	次長		1						1
	署長		1※						1※
	副署長								0
	消防総務課		1	3	1		1		6
	予防課		1	3	2	3	1		10
	消防課		2	5	2	3	7		19
	情報管制室		1※	2※	1※	1※			5※
	町部局出向			1					1
	県派遣			1					1
	航空隊派遣								0
計		1	5	13	5	6	9	0	39

※ は兼務

消防職員年齢別構成

階級 / 年齢	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務（その他の職員）	計
員　数	1	5	13	5	6	9	0	39
18 ～ 24						7		7
25 ～ 29					2	2		4
30 ～ 34				2	4			6
35 ～ 39				3				3
40 ～ 44			3					3
45 ～ 49		1	9					10
50 ～ 54	1	3	1					5
55 ～		1						1
平均年齢	54.0	52.4	46.5	35.0	30.6	22.5		40.2

消防職員勤続年数状況

階級 / 年数	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務（その他の職員）	計
5年未満						9	0	9
5 ～ 9					6			6
10 ～ 14				3				3
15 ～ 19				2				2
20 ～ 24			5					5
25 ～ 29		1	5					6
30年以上	1	4	3					8
員　数	1	5	13	5	6	9	0	39

消防吏員の教育実施状況

区分 ＼ 年度			H19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度	2年度	3年度	4年度	計
消防大学校											2	2		1	1	1		1	8
福井県消防学校	初任科			2				2	2	3	3	2	2	1		3	3	1	24
	幹部教育	初級幹部科	1	1			1		1		1		1						6
		中級幹部科	1	1		1		1		1		1		1		1		1	9
		上級幹部科	1	1	1	1		1	1	1			1						8
	専科教育	警防科	1	1				1		1		1				1		1	7
		特殊災害科	1	1	1		1		1		1								6
		予防査察科	1			1	1	1	1	1	1	1				1		1	10
		危険物科	1	1		1		1				1				1		1	7
		火災調査科	1	1			1		1		1		1						6
		救助科	1	1	1			1				1	1	1		1		1	9
		救急科		2				2	2	3	3	2	2	1		1		3	21
	特別教育	水難救助科	1	1	1	1		1			1	1		1				1	9
救命士	養成研修所							1		1			1	1	1		1		6
	気管挿管病院実習		1			1					1	1		1	2				7
各機関等による短期講習			48	9	25	33	66	29	25	51	77	47	70	77	52	20	39	58	726
計			59	22	29	39	70	41	34	62	91	60	79	85	56	30	43	69	869

消防吏員の各種資格取得状況

資格別 ＼ 階級		司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	計
自動車	普通自動車免許						7	7
	準中型				2	6	2	10
	中型	1	5	12	3	6		27
	大型	1	5	13	4	4	2	29
	大型特殊	1	4	1	1			7
危険物	乙種（2類）			1				1
	乙種（3類）			1				1
	乙種（4類）		1	6	3		4	14
	乙種（5類）			1				1
	乙種（6類）			1				1
	丙種		1	1				2
検定 予防技術	防火査察			3	1	1		5
	消防用設備等		1	2		1		4
	危険物			3			1	4
その他	救急救命士		3	4	3	2	3	15
	気管挿管認定者		3	4	2			9
	薬剤認定者		3	4	3	2	3	15
	JPTEC		2	5	5	6	1	19
	特殊無線技士	1	5	13	5	6	8	38
	特定化学物質等作業主任者講習		1	1				2
	潜水士	1	1	11	4	4	2	23
	小型船舶操縦士免許	1	1	6	4	1		13
	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者	1	2	4	1	1		9
	クレーン等運転技能講習（5ﾄﾝ未）	1	4	11	2	4		22
	玉掛け技能講習	1	4	11	2	4	1	23
	伐木作業従事者	1	2	3	1			7
	ガス溶断技能講習	1	1	3	2	2		9
	高所作業者取扱講習	1	1	1				3
	車両系建設機械技能講習	1	1			1		3
	電気工事士						1	1

消防団員報酬及び手当の状況

種　別	区　分		支給単位	金　額（円）
報　酬	基本団員	団　長	年　額	105,000
		副団長	〃	78,000
		分団長	〃	60,000
		副分団長	〃	45,500
		班　長	〃	37,000
		団　員	〃	36,500
		指導員	〃	15,000
	機能別団員	班　長	〃	5,000
		団　員	〃	4,000
	機関手当（大型1台につき）		〃	10,000
	機関手当（小型1台につき）		〃	7,000
出動報酬	火災（災害）出動		1回(4時間)	4,000
	警戒、訓練、整備等		〃	2,400

消防団員配置状況

階級別 / 分団別		団長	副団長	分団長	副分団長	班長	団員	合計
本部	本部員	1	2					3
	機能別団員					1	143	144
女性分団				1	1	1	13	16
上志比東分団				1	1	2	11	15
上志比西分団				1	1	1	13	16
志比北分団				1	1	4	14	20
志比中分団				1	1	4	16	22
志比南分団				1	1	4	19	25
松岡東分団				1	1	4	17	23
松岡中分団				1	1	3	8	13
松岡西分団				1	1	3	10	15
御陵分団				1	1	4	9	15
吉野分団				1	1	3	16	21
合計		1	2	11	11	34	289	348
定員		1	3	17	11	44	336	412

消防団員　年齢別・階級別構成

年齢＼階級別	団長	副団長	分団長	副分団長	班長	団員	合計
員　数	1	2	12	11	34	288	348
18 ～ 24						17	17
25 ～ 29						21	21
30 ～ 34						16	16
35 ～ 39					1	23	24
40 ～ 44			1	1	6	35	43
45 ～ 49				3	14	46	63
50 ～ 54			6	2	7	29	44
55歳以上	1	2	5	5	6	101	120

平均年齢 48.06 歳

分団別消防団員勤続年数状況

勤続年数＼分団別	本部		女性分団	上志比東分団	上志比西分団	志比北分団	志比中分団	志比南分団	松岡東分団	松岡中分団	松岡西分団	御陵分団	吉野分団	合計
	本部員	機能別												
5年未満		120	9	4	4	2	3	5	4	3	1	1	2	158
5 ～ 9		17	1	3	4	7	7	11	4	4	4	3	4	69
10 ～ 14		7	6	7	4	4	7	4	4	2	3	3	6	57
15 ～ 19				1	1	2	2	1	4	1	2	5	5	24
20 ～ 24	2				2	3	2	1	3	1	3	2	4	23
25 ～ 29					1	2	1	3	3	2	1	1		14
30年以上	1								1		1			3
員　数	3	144	16	15	16	20	22	25	23	13	15	15	21	348

消防応援協定の状況

１　消防相互応援協定関係

協　　定　　名	協　　定　　先	締　結　年　月　日
福井県広域消防相互応援協定書	福井県下市町・消防組合	平成18年　3月20日
福井県広域消防相互応援協定に関する覚書	福井市消防局	平成18年　4月　1日
福井県広域消防相互応援協定に関する覚書	嶺北消防組合	平成21年　5月　1日
中部縦貫自動車道永平寺大野道路における応援協定に関する覚書	勝山市消防本部	平成25年　5月　1日

２　北陸自動車道関係

協　　定　　名	協　　定　　先	締　結　年　月　日
高速自動車道北陸自動車道における消防相互応援協定に関する覚書	福井市消防局 嶺北消防組合	平成18年　3月20日

３　福井県防災ヘリコプター関係

協　　定　　名	協　　定　　先	締　結　年　月　日
福井県防災ヘリコプター協定	福井県及び 福井県下市町・消防組合	平成　9年　4月　1日

４　集団災害関係

協　　定　　名	協　　定　　先	締　結　年　月　日
集団災害救急救助事故応援協定	国立大学法人 福井大学医学部附属病院	平成19年11月26日

◆　予　防　編

防火対象物数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２０

建築同意状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２１

消防用設備等設置状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２２

防火管理の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２３

危険物製造所等状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２４

危険物倍数別製造所等の数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２４

危険物施設の許可、完成検査、タンク検査等の数・・・・・・２５

煙火消費許可申請の数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２５

各種届出状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２５

中高層建築物一覧表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２６

防火指導等状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２６

防 火 対 象 物 数（150㎡以上）

区分		永平寺町				計
			松岡地区	永平寺地区	上志比地区	
1	イ　劇場・映画館等					57
	ロ　公会堂・集会場	57	22	18	17	
2	イ　キャバレー・ナイトクラブ・カフェー					
	ロ　遊技場・ダンスホール					
	ハ　性風俗営業を営む店舗等					
	ニ　カラオケボックス等					
3	イ　待合・料理店	1	1			9
	ロ　飲食店	8		8		
4	百貨店・マーケット・展示場	21	14	6	1	21
5	イ　旅館・ホテル・宿泊所	5	2	3		130
	ロ　寄宿舎・下宿・共同住宅	125	117	7	1	
6	イ　病院・診療所	10	8		2	35
	ロ　要介護者・重度障害者施設（通所施設除く）	8	6	1	1	
	ハ　通所・障害者支援施設（障害程度が軽いもの）	17	8	6	3	
	ニ　幼稚園 又は 特別支援学校					
7	小・中・高・各種学校	17	11	4	2	17
8	図書館・博物館	3	1	1	1	3
9	イ　公衆浴場のうち蒸気浴場・熱気浴場等	1			1	2
	ロ　イに掲げる以外の公衆浴場	1	1			
10	車両の停車場					
11	神社・寺院・教会	27	11	8	8	27
12	イ　工場又は作業場	138	45	61	32	138
	ロ　映画又はテレビスタジオ					
13	自動車車庫又は駐車場	6	1	3	2	6
14	倉庫	73	22	43	8	73
15	前各項に該当しない事業場	76	34	22	20	76
16	イ　特定防火対象物の存する複合防火対象物	66	30	29	7	117
	ロ　イ以外の複合防火対象物	51	21	26	4	
17	重要文化財等建造物					
計		711	355	246	110	711

建 築 同 意 状 況

区	分	新　築	増改築	その他	小　計	計
1	イ 劇場・映画館等					
	ロ 公会堂・集会場					
2	イ キャバレー・ナイトクラブ・カフェー					
	ロ 遊技場・ダンスホール					
	ハ 性風俗営業を営む店舗等					
	ニ カラオケボックス等					
3	イ 待合・料理店					1
	ロ 飲食店	1				
4	百貨店・マーケット・展示場					
5	イ 旅館・ホテル・宿泊所					2
	ロ 寄宿舎・下宿・共同住宅	2				
6	イ 病院・診療所		2			2
	ロ 要介護者・重度障害者施設（通所施設除く）					
	ハ 通所・障害者支援施設（障害程度が軽いもの）					
	ニ 幼稚園又は特別支援学校					
7	小・中・高・各種学校					
8	図書館・博物館					
9	イ 公衆浴場のうち蒸気浴場・熱気浴場等					
	ロ イに掲げる以外の公衆浴場					
10	車両の停車場					
11	神社・寺院・教会					
12	イ 工場又は作業場	1				1
	ロ 映画又はテレビスタジオ					
13	イ 自動車車庫又は駐車場					
14	倉庫	1				1
15	前各項に該当しない事業場	2				2
16	イ 特定防火対象物の存する複合防火対象物					
	ロ イ以外の複合防火対象物					
17	重要文化財等建造物					
その他、別表外対象物		5				5
計		12	2	0	0	14

消防用設備等設置状況

区分		屋内消火栓設備	スプリンクラー設備	屋外消火栓設備	動力消防ポンプ設備	自動火災報知設備	火災通報装置	非常警報設備	避難器具	誘導灯
1	イロ	2				18		15	1	34
2	イロハニ									
3	イロ	1				3		3	1	8
4		1		1		13		7		19
5	イロ	1				34	1	1	29	4
6	イロハニ	3	9			25	11	3	3	37
7		12			1	15		3	10	
8						2		1		1
9	イロ					1				1
10										
11		1				4		8		3
12	イロ	10		3	3	51				15
13	イロ									
14		8		2	1	25			1	16
15		3				12	3		3	18
16	イロ	8	1	1		35	1	9	10	41
17										
18										
計		50	10	7	5	238	16	50	58	197

防火管理の状況

区分			法第8条該当対象物数	防火管理者届出済対象物数	消防計画届出済対象物数
1	イ ロ	劇場、映画館、観覧場 公会堂又は集会場	57	17	12
2	イ ロ ハ ニ	キャバレー、ナイトクラブ等 遊技場又はダンスホール 性風俗営業を営む店舗等 カラオケボックス等			
3	イ ロ	待合、料理店等 飲食店	9	6	6
4		百貨店，マーケット等	14	14	14
5	イ ロ	旅館、ホテル又は宿泊所 寄宿舎、下宿又は共同住宅	9	5	5
6	イ ロ ハ ニ	病院、診療所等 要介護者・重度障害者施設（通所施設除く） 通所・障害者支援施設（障害程度が軽いもの） 幼稚園又は特別支援学校	23	23	23
7		小学校、中学校、高等学校等	16	16	16
8		図書館、美術館	2	2	2
9	イ ロ	蒸気浴場、熱気浴場等 イ以外の公衆浴場	1	1	1
10		車両の停車場等			
11		神社、寺院、教会等	12	12	12
12	イ ロ	工場又は作業場 テレビスタジオ等	6	6	6
13	イ ロ	自動車車庫又は駐車場 飛行機等の格納庫			
14		倉庫	3	3	3
15		前各項に該当しない事業場	14	14	14
16	イ ロ	特定複合用途防火対象物 イ以外の複合用途防火対象物	37	31	30
17		重要文化財等建造物			
18		延長５０ｍ以上のアーケード			
計			203	150	144

危険物製造所等状況

区分 地区別	貯蔵所						取扱所			小計	事業所数
	屋内貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	給油取扱所	（自家用）	一般取扱所		
永平寺町	5	2	19	12		4	6	(3)	11	59	35
松岡地区	4		9	8		1	5	(3)	4	31	18
永平寺地区	1	2	7	4		2	1		6	23	12
上志比地区			3			1			1	5	5

危険物倍数別製造所等の数

区分 指定数量の倍数	貯蔵所						取扱所			計
	屋内貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	給油取扱所	（自家用）	一般取扱所	
5倍以下	3	1	9	11		3			5	32
5倍を超え～10倍以下			6	1		1	1		4	13
10倍を超え～50倍以下	2	1	4				1	(2)	2	10
50倍を超え～100倍以下							1			1
100倍を超え～150倍以下							1	(1)		1
150倍を超え～200倍以下							1			1
200倍を超えるもの							1			1
計	5	2	19	12		4	6	(3)	11	59

危険物施設の許可、完成検査、タンク検査等の数

（令和4年度）

区　　分	件　　数	手　数　料（千円）
設　置　許　可　申　請	1	26
変　更　許　可　申　請	4	52
完　　成　　検　　査	4	39
水　張　（圧）検　査		
仮　　使　　用	1	5.4
仮 貯 蔵 ・ 仮 取 扱	2	10.8
計	12	133.2

煙火消費許可申請

（令和4年度）

区　　分	件　　数	手　数　料（千円）
煙　火　消　費　許　可　申　請	2	15.8

各 種 届 出 状 況

（令和4年度）

用　　途　　別	届　　出　　数
消防計画作成（変更）届出	76
消防用設備等点検結果報告届出	309
防火対象物使用開始（変更）届出	25
炉・厨房設備・温風暖房機・ボイラー・給油湯沸設備・乾燥機 サウナ設備・ヒートポンプ冷暖房機・火花を生ずる設備 放電加工機設置届出	3
発電設備・変電設備・蓄電池設備設置届出	8
ネオン管灯設備設置届出	
水素ガスを充てんする気球の設置届出	
火災とまぎらわしい煙又は火災を発するおそれのある 行為等の届出	25
煙火打上げ・仕掛け花火届出	1
催物開催届出	13
水道又は用排水路の断水・減水届出	
道路工事届出	249
消防活動上支障ある行為等の届出	47
指定洞道等届出（新規・変更）	
少量危険物、指定可燃物貯蔵取扱い届出	6
圧縮アセチレンガス等の貯蔵等の届出	4
液化石油ガス設備工事届出	
計	766

中高層建築物一覧表

地区別 / 階数 / 用途別	永平寺町								計
	松岡地区				永平寺地区			上志比地区	
	3階	4階	5階以上	7階以上	3階	4階	5階以上	3階	
学校	3		1	1	4			2	11
病院				1					1
旅館・ホテル	1				1				2
飲食店	1				1				2
店舗									0
集会場	1	1						1	3
寺院									0
工場・作業場	4								4
倉庫						1			1
共同住宅	32	12	6	2	1				53
事務所等	7				2		1		10
複合用途防火対象物	16				8	1	1	2	28
計	65	13	7	4	17	2	2	5	115

防火指導等状況

（令和4年度）

種別	回数	対象者数・件
消防訓練指導（普通救命講習会）	25	405 名
〃（救急講習会）	20	372 名
〃（消火・避難訓練）	138	8580 名
査察・検査等（防火対象物）		200 件
〃（危険物施設）		51 件
〃（危険物車両等）		1 件

◆　警　防　編

消防力の現有数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２７

現有消防力の指数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２７

消防車両の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２８

消防機械配置状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２９

地区別水利状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２９

通信施設の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２９

無線設備機設置状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３０

救急資器材の配置状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３１

消防資器材・救助資機材の配置状況・・・・・・・・・・・・・・・・３２

消防力の現有数

区分		現有
消防本部・署	消防署	1
	消防職員	39
	消防ポンプ車	3
	救急自動車	3
	救助工作車	1
	指揮車	2
	広報車	1
	災害救援車	1
	資機材運搬車	2
	小型動力ポンプD1級	2
消防団	消防団員	348
	消防ポンプ車	10
	小型動力ポンプ付き積載車	10
	防災学習・災害活動車	2
水利	消火栓	1117
	防火水槽	257
	防火水槽（飲料水兼用）	4

現有消防力の指数

種別 / 区分	常備	非常備
	消防職員1人当たり	消防団員1人当たり
面積（Km²）	2.4	0.27
人口（人）	449	51
世帯数（世帯）	165	19

消 防 車 両 の 状 況

所属	種別	年式	メーカー・型式	級別・性能	車両名
消防本部・署	指揮車	H23	ミツビシ DBA－V93W		永平寺指揮1号車
	防災広報車	H16	スバル UA－BP5		永平寺広報1号車
	指揮広報車	H11	ニッサン GF－QU14		永平寺指揮2号車
	高規格救急車	R4	トヨタ 3BF－TRH226S		永平寺救急1号車
	高規格救急車	H17	ニッサン TC－FPWGE50改		永平寺救急2号車
	高規格救急車	H22	トヨタ CBF－TRH226S		永平寺救急3号車
	消防ポンプ車	H29	トヨタ TKG-XZU685	モリタ A－2 CAFS装置付	永平寺1号車
	水槽付ポンプ車	H21	ヒノ BDG-GX7JGWA	水I－B型CAFS装置付	永平寺2号車
	水槽付ポンプ車	H5	ヒノ U－FD3HEAA改	モリタ A－2	永平寺4号車
	資材運搬車	H19	ミツビシ PDG－FD70B		永平寺3号車
	資材運搬車	H28	ダイハツ EBD－S331V		資機材搬送車
	救助工作車	R1	ヒノ 2KG－GX2ABA	R－Ⅱ型	永平寺救助1号車
	災害救援車	H13	ヒノ KK－HZB50M	29人乗り	災害救援車
消防団	防災学習車	H31	トヨタ CBF-TRH226K		永平寺査察1号車
	防災学習車	R5	ニッサン 3BA－KS6E26	10人乗り	永平寺防災学習車Ⅱ
	ポンプ車	H11	トヨタ KC－HZJ75	モリタ A－2	上志比東ポンプ車
	積載車	H27	トヨタ LDF-KDY2B1	シバウラ B716	上志比東積載車
	ポンプ車	R4	いすゞ 2PG-NMS88AN	日機 A－2	上志比西ポンプ車
	積載車	H1	トヨタ L－YH81改	トーハツ B2	上志比西積載車
	積載車	H7	トヨタ KC－LY151改	シバウラ B3	志比北積載車
	ポンプ車	H24	トヨタ TKG-XZU685	日機 A－2	志比北ポンプ車
	ポンプ車	H25	トヨタ TKG-XZU685	日機 A－2	志比中ポンプ車
	積載車	H4	トヨタ U－LH85改	シバウラ B3	志比中積載車
	ポンプ車	H31	トヨタ TKG-XZU685	日機 A－2	志比南ポンプ車
	積載車	H5	トヨタ U－LH85改	シバウラ B2	志比南積載車
	ポンプ車	R2	いすゞ 2PG-NMS88AN	モリタ A－2	松岡東ポンプ車
	積載車	H3	トヨタ U－LH85改	トーハツ B2	松岡東積載車
	ポンプ車	H29	トヨタ TKG-XZU685	ナカムラ消防科学 A-2	松岡中ポンプ車
	ポンプ車	H27	いすゞ TKG-NMS85AN	モリタ A－2	松岡西ポンプ車
	積載車	H3	トヨタ U－LH85改	トーハツ B2	松岡西積載車
	ポンプ車	H20	ヒノ BDG-XZU378M改	モリタ A－2	御陵ポンプ車
	多機能車	H21	いすゞ BKG－NHS85A	トーハツ B2	御陵積載車
	ポンプ車	H28	トヨタ TKG－XZU685	モリタ A－2	吉野ポンプ車
	積載車	R5	ダイハツ 3BD－710W	トーハツ B2	吉野積載車
	積載車	H3	トヨタ U－LH85改	トーハツ B3	機能別積載車

消防機器配置状況

区分 / 車両名		本部・署	消防団			合計
			松岡地区	永平寺地区	上志比地区	
消防ポンプ自動車			5	3	2	10
水槽付消防ポンプ自動車		3				3
救助工作車		1				1
救急自動車		3				3
指揮車		2				2
広報車		1				1
査察広報車						0
小型動力ポンプ	D－1級	2				2
	C－1級					0
	B－3級			4		4
	B－2級		4		2	6
積載車			5	3	2	10
資材運搬車		2				2
災害救援車		1				1
防災学習車				2		2

地区別水利状況

区分 / 地区別	消火栓	防火水槽	
		40㎥以上	飲料水兼用
松岡地区	472	109	2
永平寺地区	457	95	2
上志比地区	188	53	0
合計	1117	257	4

通信施設の状況

区分 / 配置先	無線設備							有線設備							その他	
	基地局	移動局			受令機			緊急通報専用回線	一般回線	FAX回線	メール119回線	災害情報自動案内	順次指令	NET119	福井県防災情報NW	庁内放送設備
		車載型	携帯型	可搬型	卓上型	携帯型	車載型									
本部・署	3	12	13	2	2			13	6	1	1	1	1	1	1	1
消防団						8	10									
合計	3	12	13	2	2	8	10	13	6	1	1	1	1	1	1	1

無線設備機設置状況

名　　称	識別信号	出力（W）	局種別	設置場所（積載車両）
永平寺本部	えいへいじほんぶ	10W	基地	消防本部
永平寺役場	えいへいじやくば	5W	〃	永平寺役場
永平寺5分団車庫	えいへいじ5ぶんだんしゃこ	2W	〃	志比南分団車庫
永平寺指揮1	えいへいじしき1	5W	陸上移動	指揮車
永平寺指揮2	えいへいじしき2	5W	〃	〃
永平寺救急1	えいへいじきゅうきゅう1	5W	〃	救急車
永平寺救急2	えいへいじきゅうきゅう2	5W	〃	〃
永平寺救急3	えいへいじきゅうきゅう3	5W	〃	〃
永平寺1	えいへいじ1	5W	〃	水槽付ポンプ自動車
永平寺2	えいへいじ2	5W	〃	水槽付ポンプ自動車
永平寺3	えいへいじ3	5W	〃	資材運搬車
永平寺4	えいへいじ4	5W	〃	水槽付ポンプ自動車
永平寺救助1	えいへいじきゅうじょ1	5W	〃	救助工作車
永平寺広報1	えいへいじこうほう1	5W	〃	防災広報車
永平寺査察1	えいへいじささつ1	5W	〃	査察車
永平寺可搬1	えいへいじかはん1	5W	〃	可搬型
永平寺可搬2	えいへいじかはん2	5W	〃	〃
永平寺101	えいへいじ101	2W	〃	〃
永平寺102	えいへいじ102	2W	〃	〃
永平寺103	えいへいじ103	2W	〃	〃
永平寺104	えいへいじ104	2W	〃	〃
永平寺105	えいへいじ105	2W	〃	〃
永平寺106	えいへいじ106	2W	〃	〃
永平寺107	えいへいじ107	2W	〃	〃
永平寺108	えいへいじ108	2W	〃	〃
永平寺109	えいへいじ109	2W	〃	〃
永平寺110	えいへいじ110	2W	〃	〃
永平寺111	えいへいじ111	2W	〃	〃
永平寺112	えいへいじ112	2W	〃	〃
永平寺113	えいへいじ113	2W	〃	〃

救急資器材の配置状況

区分		本部・署
観察	電子聴診器	1
	血圧計	3
	パルスオキシメーター	3
	患者監視装置	3
	血糖測定器	2
	耳体温計	3
	非接触型体温計	2
呼吸・循環管理	自動式人工呼吸器	3
	手動式人工呼吸器	3
	心肺蘇生用背板	2
	電動式吸引器	3
	酸素ボンベ（１０．０ℓ）	12
	酸素ボンベ（２．０ℓ）	12
	自動体外式除細動器	4
	喉頭鏡	4
	マギール鉗子	6
	ショックパンツ	1
	Ｃ０２モニター	2
	ビデオ喉頭鏡	2
	自動心臓マッサージ器	2
固定保護	スクープストレッチャー	5
	陰圧式固定用具一式	1
	バックボード一式	4
	ショートボード	4
搬送	メインストレッチャー	3
	コンビネーションストレッチャー	3
	布担架	2
	エバックチェア	1
	バリライトマット	5
消毒	CT測定器内臓オゾンガス発生装置	1
	水冷式オゾン水生成装置 オゾンクリーナー	1
訓練	ＡＥＤトレーナー	20
	心肺蘇生訓練人形（乳幼児用）	9
	心肺蘇生訓練人形（成人用）	25
	気管挿管訓練人形	1
その他	リングカッター	1
	軽微救助資器材セット	3

消防資機材･救助資機材の配置状況

資機材名	本部･署
二連梯子	3
三連梯子	4
油処理剤１８ℓ缶	7
泡消火薬剤２０ℓ缶	29
メガホン（サイレン音付）	7
携帯無線機	13
携帯警報器	15
低発泡ノズル	4
フォグガン･プロジェットガン	7
無反動ノズル	4
放水銃	2
ドレンジャーホース	5
ジェットシューター	41
空気呼吸器	34
空気ボンベ（ＦＲＰ）	66
空気ボンベ（鋼）	18
耐電ヘルメット･手袋･長靴	5
バーティカルストレッチャー	1
バスケットストレッチャー	2
ポータブル CAFS（武蔵）	1
ガス測定機	1
ガス溶断機	1
ホリガンツール	2
エアソー（空気鋸）	1
チェーンソー	2
レシプロソー	1
エアカッター	1
エンジンカッター	2
ハンマードリル	1
エンジンポンプユニット	1
油圧カッター	1
油圧スプレッダー	1
ラムシリンダー	1
スタブファスト	2
マット型空気ジャッキ	1
空気式救助マット	1
送排風機	1
レスキューショット	1
救命胴衣	12
救命ボート（ゴム製）	2
水中投光器	2
潜水器具一式	6
ウェットスーツ	9
ドライスーツ	9
防毒マスク	20
空気充填機	1
発電機	7
エアーテント	2
エアーフロアー	8
陽圧化学防護服	4
熱中症防止用ベスト	4
複合ガス検知器	1
検知管式ガス検知器	1
除染シャワーテント一式	1

◆　関　係　団　体

永平寺町消防協会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３３

永平寺町防火協会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３４

永平寺町幼少年婦人防火推進委員会・・・・・・・・・・・・・・・３５

永平寺町女性防火クラブ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３６

永平寺町少年消防クラブ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３７

永平寺町幼年消防クラブ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３８

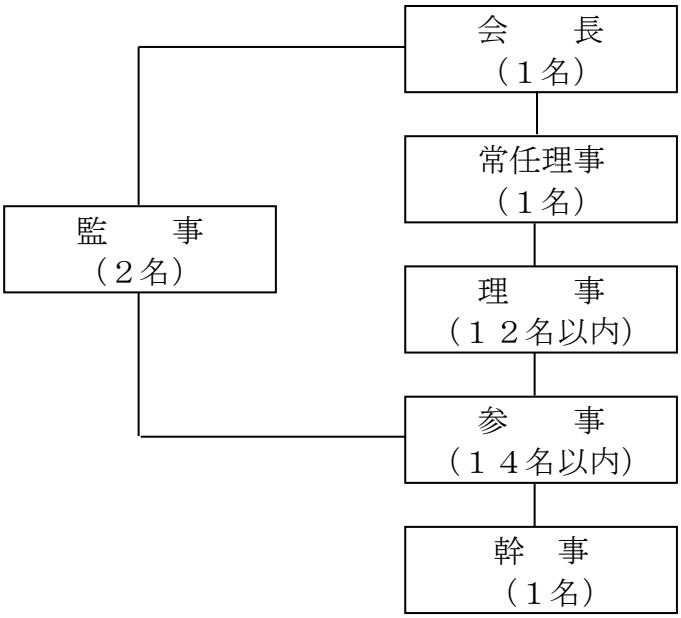
永平寺消防ＯＢ会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３９

永　平　寺　町　消　防　協　会

【本会の設立主旨】

平成１８年２月１３日に永平寺町消防協会が発足されたことに伴い、永平寺町内の防火思想の普及啓発に努めるとともに、消防職団員の教養訓練及び福利厚生、消防施設の整備改善、消防活動等の強化充実を図ることを目的としている。

【組　　織】



【年間予算】　　（単位：円）

区　分	会　費	助 成 金	諸 収 入	繰 越 金	合　計
令和５年度 予　算	60,300	150,000	734	58,966	270,000

※助成金 ―――― 県消防協会委託金　　150,000

【主な活動】

○ 防火思想の普及啓発
○ 消防職団員の福利厚生事業
○ 消防施設等の強化拡充
○ その他協会の目的を達成するための事業
○消防職団員の教養・教育
○消防職団員及び消防功労者の表彰
○消防団活動の強化推進事業

【事 務 局】

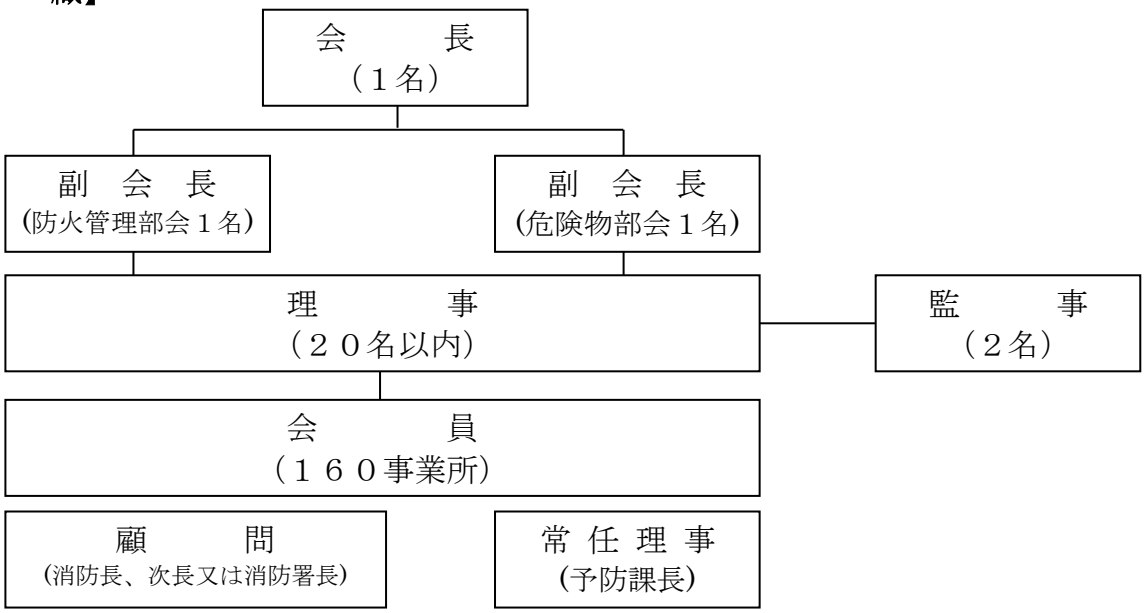
消防本部消防課内

永　平　寺　町　防　火　協　会

【本会の設立趣旨】

昭和４６年４月、危険物・ＬＰＧ販売取扱い業者相互の技術の向上並びに災害の予防研究等を目的に吉田地区危険物安全協会として設立され、幾多の変遷を経て平成８年４月危険物安全協会と防火管理者会が統合され新たに吉田地区防火協会となり、平成１８年４月には永平寺町防火協会として新たに設立され、組織の充実と事業の拡大を図り地域住民の防火思想の普及、広報と福祉の増進に寄与することを目的に現在に至っております。

【組　　織】



【区　　域】

永平寺町の全域がその活動区域です。

【会　　員】

永平寺町において防火管理者を有する防火対象物及び防火対象物の危険物施設並びに液化石油ガス販売施設の事業主、所有者、管理者、占有者、関係者等

【年間予算】　　（単位：円）

区　分	会　費	諸 収 入	繰 越 金	合　計
令和５年度 予　算	459,500	41	276,559	736,100

【主な活動】

○ 会員相互間の連絡調整、情報交換
○ 防火管理体制、危険物保安管理体制の確保の普及啓発に関する事項
○ 防災広報の支援活動に関する事項
○ 永平寺町幼少年婦人防火推進委員会の支援活動に関する事項

【事 務 局】

消防本部予防課内

永平寺町幼少年女性防火推進委員会

【本会の設立趣旨】

この委員会は永平寺町内に設置された幼年消防クラブ、少年消防クラブ及び女性防火クラブの組織の拡大強化ならびに活動の助成を図り、もって地域住民の防火思想の高揚及び家庭を中心とした地域社会全般にわたる防火防災体制の一層の充実を図ることを目的として、昭和５９年９月１日に吉田地区幼少年婦人防火推進委員会が設立、平成１８年４月に永平寺町幼少年婦人防火推進委員会として新たに設立されました。

【組　　織】

会　長（消防本部消防長）

事務局（消防本部予防課）

委　　員

永平寺町教育長
永平寺町防火協会会長
永平寺町消防協会会長
女性防火クラブ会長
幼年消防クラブ会長
少年消防クラブ会長
永平寺町消防本部消防次長

【主な活動】

○ 幼年消防クラブ、少年消防クラブ及び女性防火クラブの組織拡大強化

○ 幼年消防クラブ、少年消防クラブ及び女性防火クラブの育成、指導

○ 防火思想の啓蒙

○ その他委員会の目的達成に必要な事項

【クラブ結成状況】

幼年消防クラブ	少年消防クラブ	女性防火クラブ
クラブ数	クラブ数	クラブ数
９	１０	１

永平寺町女性防火クラブ

【クラブの設立趣旨】

永平寺町に居住する女性で自らの危機管理能力を高めるとともに、ボランティアで家庭や地域における防火・防災活動を実践し、災害のない町づくりに貢献することを目的で平成２５年４月に永平寺町婦人防火クラブから永平寺町女性防火クラブとして新たに結成されました。

【主な活動】

○ 家庭における火災予防と防火知識の習得

○ 火災予防についての研修

○ 火災予防に対する協力

○ その他目的達成のため必要と認める事項の推進

【事 務 局】

消防本部予防課内

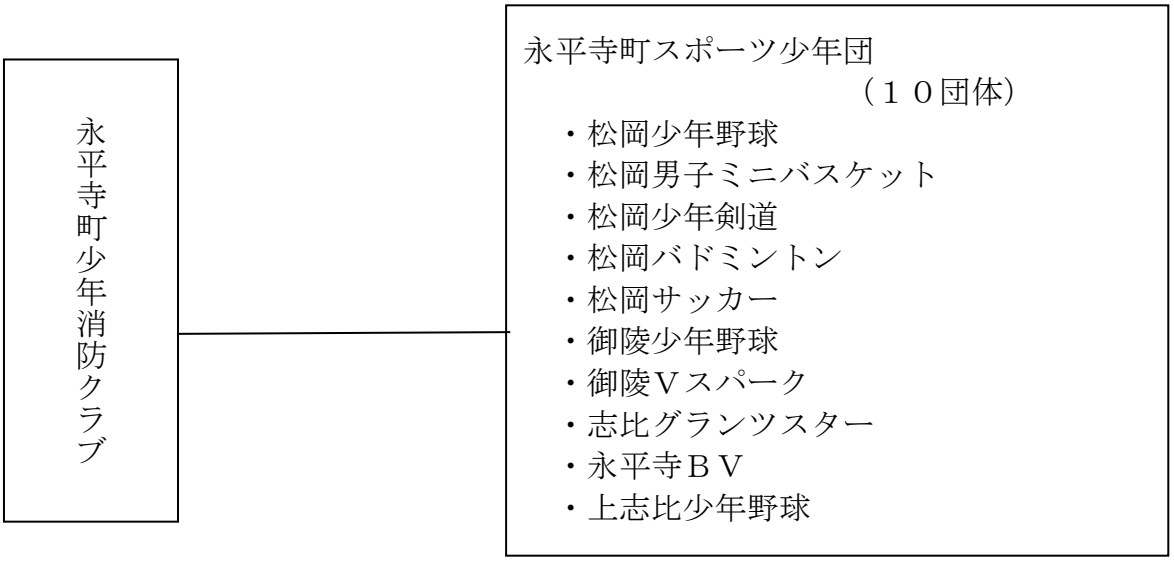
永平寺町少年消防クラブ （BFC）

【クラブの設立趣旨】

永平寺町内の少年達に、火災予防の普及徹底及び一般的防火思想の向上を図り相互の親和と協同の精神を養い併せて火災予防を研究し実践することを目的として昭和５７年６月に吉田地区連合少年消防クラブとして結成、平成１８年４月に永平寺町連合少年消防クラブとして新たに結成されましたが、平成２３年４月からはさらに組織拡大をはかり新体制となりました。

ＢＦＣとは、Boys and Girls Fire Club の頭文字を取ったものです。

【組　　織】



【主な活動】

○ 火災予防に対する研究、実践

○ 火災予防の広報（防火ポスターコンクール等）

○ 防災活動や消防についての理解促進の為の知識・技術を広く伝え、将来の地域防災を担う人材育成（地域防災スクール）

○ その他必要な事項

【事 務 局】

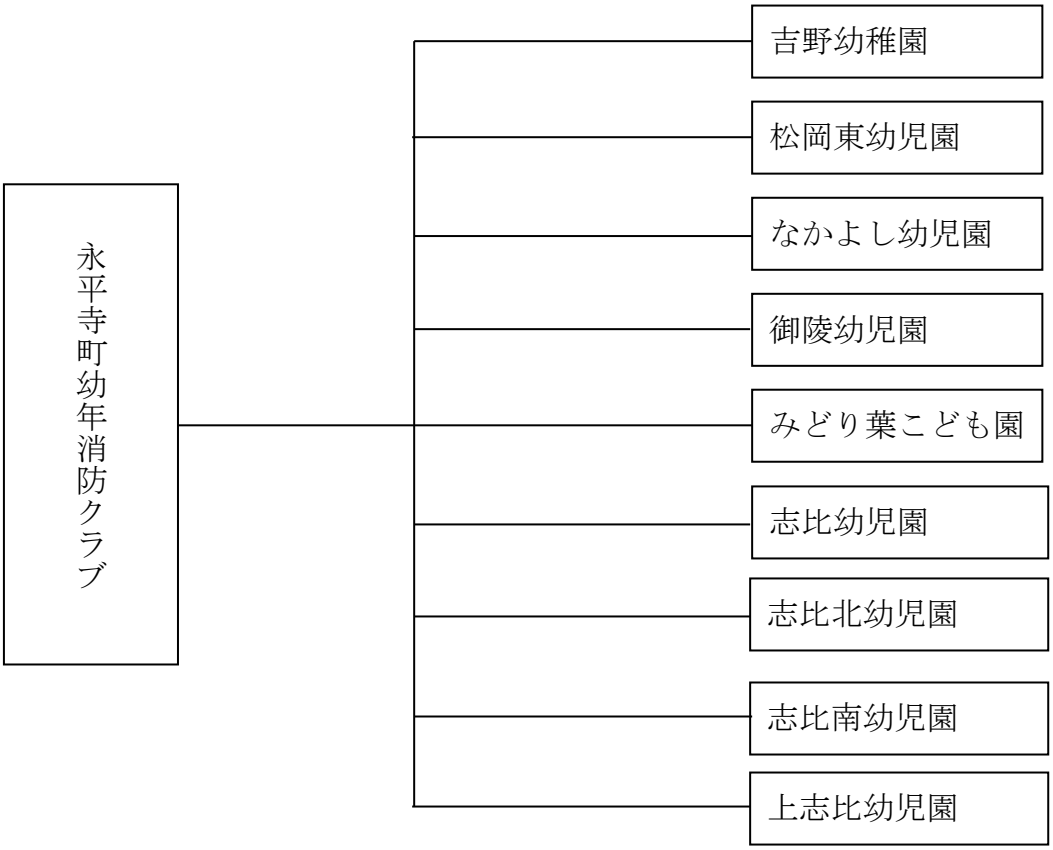
消防本部予防課内

永平寺町幼年消防クラブ

【クラブの設立趣旨】

幼年達に正しい火の取扱い等初歩的な知識を養い消防の仕事を理解させることにより、火遊び等による火災を防止し、もって防火思想の向上を図ることを目的とし、昭和５７年１０月に吉田地区連合幼年消防クラブが結成、平成１８年４月に永平寺町幼年消防クラブとして新たに結成されました。

【組　　織】



【主な活動】

○ 火災予防の広報（ちびっこ防火まつり等）
○ 火に対する正しい知識と恐ろしさを知る催し物の開催（節分行事等）
○ 避難の要領等の習得
○ 消防署の見学
○ その他必要な事項

【事 務 局】

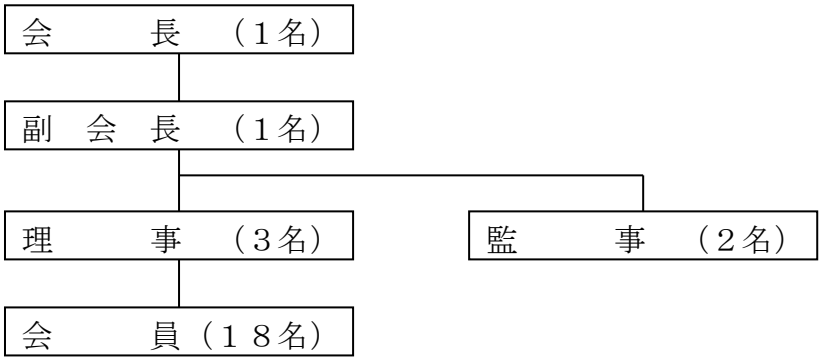
消防本部予防課内

永平寺消防ＯＢ会

【本会の設立趣旨】

消防行政の後方支援および各位の親睦を目的として、平成６年１２月１５日に元消防職員、団員で吉田消防ＯＢ会として設立、平成１８年４月には永平寺消防ＯＢ会として新たに設立されました。

【組　　織】



【会　　員】

永平寺町消防団（旧松岡、永平寺、上志比消防団）の正副団長・分団長及び永平寺町消防本部（旧吉田地区消防組合時含む）消防職員の課長以上の職にあって退職した者で、本会の趣旨に賛同する者。

【年間予算】　　（単位：円）

区　分	会　費	繰 越 金	諸 収 入	合　計
平成５年度 予　算	156,000	131,890	110	288,000

【主な活動】

○ 会員の親睦、研修に関すること

○ 消防行政の後方支援に関すること

○ 会員の慶弔に関すること

○ その他必要と認める事項

【事 務 局】

消防本部消防総務課内

消防職員七指標

１．旺盛な使命感

２．厳正な規律

３．強固なチームワーク

４．質実剛健の気風

５．多様な専門知識と柔軟な思考力

６．創意と工夫

７．強い体力と旺盛な気力

永 平 寺 町

永平寺町消防本部

住民の生命と財産を守る

令和５年版消防年報

令和５年７月
発　行　福井県吉田郡永平寺町東古市第１０号５番地
永平寺町消防本部・署
TEL（0776）63-0119
FAX（0776）63-0168

HP ｱﾄﾞﾚｽ【http://www.town.eiheiji.lg.jp/】